

県本部・活動拠点本部会議（8月26日・夕）議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- ・ 明日 9:00～11:00 にアリーナの天井点検が実施予定。DWAT にて避難者対応・安全確保を行うため、スタッフは通常より早く 8:20 に出勤して対応にあたることが決定（八代拠点）。
- ・ 明日のアセスメント体制強化のため、香川県チーム（3名） および 広島県チーム（3名） の計 6 名が 11:00～22:00 で支援に入ることが決定（宇城拠点）。
- ・ 学生 DWAT（熊本学園大学等）の活動開始スケジュール
第 1 クール：今週土日（8月29日～30日）より学生 DWAT が稼働開始。
第 2 クール：9月1日（火）～（火・水・木で学生 3 名＋教員 1 名が同行し、アセスメント可能な体制を確保）。
9 月以降は最大 5 クール（福岡の西南学院大学等も連携）に分け、9 月中を通じて活動を継続する。

■各拠点からの報告 ※特記事項

● 八代地域

- ・ 長崎・鹿児島・福岡 DWAT により、全 337 件中 50 件の初期アセスメントを終了。医療ニーズのある 8 名は群馬県 JMAT へ引き継ぎ完了。要支援者 2 名の対応を継続。アリーナは第 2 回アセスメントがほぼ終了（残り 11 件）。
- ・ 避難行動要支援者については対象 324 件の確認・対応がほぼ完了。

● 宇城地域

- ・ 全避難者 642 名に対する意向調査の進捗は 50%超。罹災証明書の発行・申請遅れにより「わからない」と回答する避難者も多数。
- ・ 全避難者 642 名中 子どもは 59 名（小川防災拠点センターに 11 名等）。外部から遊びに来た子どもが避難所で食事をするケースや、高齢避難者との間で騒音等によるトラブルが発生。
- ・ 地域回りを行う職員（山口県チーム）より不審者情報が報告されたため警戒を強化。

● 氷川地域

- ・ 東小学校・西部小学校の避難所を本日（8/26）閉鎖し、学校再開準備へ移行。避難者の移動（氷川中・公民館等）を完了。

● 本部

- ・ 被災者見守り相談支援事業の説明会を実施。9 月中に各市町村でセンター設置・契約変更が進む見込み。
- ・ 環境省より熱中症リスク急増の連絡あり。在宅避難者の個別訪問時に厳重警戒。

■共有事項・確認事項

●子ども家庭庁との連携

- ・ 子ども家庭庁が被災地の子ども的人数・ニーズ把握を求めているため、各拠点での最新人数データを集約し本部経由で共有する。

●桜ヶ丘別荘からの受入者

- ・ 氷川町公民館へ避難した 6 名の詳細：要支援 2 名（うち 1 名は歩行器/車椅子）、要介護 1 が 3 名、要介護 2 が 1 名。介護ニーズが高いため、全社協を通じた介護職員等の派遣を検討。

■今後検討が必要な事項

●学生 DWAT の具体的な活動内容・役割分担の調整

- ・ こども家庭庁のニーズ、避難所現場での子ども対応（居場所づくり・学習支援）、および優先度の高い被災家屋の片付け支援等について、具体的な担当業務を熊本学園大学（黒木先生）および関係機関と協議・調整する。

●生活再建・仮設住宅移行に向けた連携体制の構築

- ・ 要配慮者が在宅復帰または仮設住宅へ移行する際の「つなぎ先」として、9 月以降に開設される「地域支え合いセンター」との連携フローを構築する。（希望に応じて本部によるレクチャー機会を設定）。